

北海道・北東北「北のスポーツ王国」行動宣言

スポーツは、爽やかさや楽しさ、喜びとともに、健康の維持や体力の向上など、私たちの心身両面にわたり生涯を通じて大きな効果をもたらします。

また、スポーツにおける世代や地域を超えた交流は、コミュニケーション能力やリーダーシップをはぐくみ、ひいては、組織や地域における連帯や相互理解の促進、活力ある地域社会の構築にも大きな役割を果たすものです。

北海道・北東北地域は、四季を通じて多彩なスポーツに親しむことのできる豊かな自然環境や国際的なスポーツ大会の開催実績を有するほか、世界の舞台やプロスポーツで活躍する幾多のトップアスリートを輩出してきました。近年は、新たなプロチームや地域に密着しながら国民的な注目を集めるチームも誕生しています。

こうした、当地域を活動拠点とするチームや当地域出身のトップアスリートは、道県民に夢や感動を与えてくれるだけでなく、地域の誇り・財産として、地域の活性化やイメージアップなどに大きな役割を果たしています。

現在、少子高齢化や人口減少などにより、我が国全体の活力の衰退、地域の伝統文化の喪失などが懸念されていますが、スポーツを地域の活力と発展のシンボルとして最大限に活用しながら、当地域の元気と魅力を創出し国内外に発信していくことが、こうした課題の解決にもつながるものと期待されます。

このためには、道県民の参加の下、団体・企業、学校、行政などが一体となって、スポーツ文化の定着やスポーツ振興に取り組んでいくことが重要です。

北海道及び北東北三県は、このような認識を共有し、下記に掲げる事項を合意し、我が国における「北のスポーツ王国」として行動していくことを宣言します。

記

- 1 スポーツを通じた北海道・北東北の「元気」づくりの推進（4道県合意）
 - (1) ライフステージに応じてスポーツに親しむことのできる「意識」づくり
誰もが気軽にそれぞれのライフステージに応じてスポーツに親しむことにより、運動の習慣化を図り、健康の保持増進や体力の向上を目指すため、道県民がともに取り組むことができるイベントの開催を検討する。
 - (2) さまざまなスポーツ活動を支える「環境」づくり
豊かなスポーツライフを実現する環境を整備するため、地域住民のスポーツ活動の拠点となる「総合型地域スポーツクラブ」に関する情報交換や、地域スポーツを支える指導者の資質向上のための共同研修会などに取り組む。
 - (3) スポーツを活用した活力ある「地域」づくり
スポーツを活用した地域の活性化を目指す、自治体、スポーツ大会事務局、トップチーム等がネットワークを構築し、課題解決に向けた情報交換などに取り組む。
- 2 トップアスリートの育成に向けた取組の推進（4道県合意）
オリンピックを始めとする世界の舞台やプロスポーツで活躍できるトップアスリートを育成するため、4道県が連携し、スポーツ科学支援体制を整備するとともにスポーツ科学を活用した取組を推進する。
- 3 県有施設・用具・機器の相互活用（4道県合意）
各道県が所管する体育館やトレーニングルームといったスポーツ関連施設の利用に際しての相互支援について検討する。
- 4 冬季国体の連携開催等にかかる検討（3県合意）
3県連携によるスキー、スケート、アイスホッケー3競技会の分散した形での「競技別開催」の可能性及びその実施体制などについて検討を進める。

平成22年8月25日

北海道知事	高橋	はるみ
青森県知事	三村	申吾
岩手県知事	達増	拓也
秋田県知事	佐竹	敬久